立川市立第六小学校　学校だより

ひまわり

令和７年
１０月号

立川市立第六小学校
〒190-0021
東京都立川市羽衣町２-２９-２２
TEL　０４２（５２３）５２４８
FAX　０４２（５２９）０８５９
校長　田中　光晴

第六小学校キャラクター「ヒーマニー」

本校児童の学力実態に基づく授業改善を目指して

校長　田中 光晴

４月に実施された全国学力・学習状況調査（４月１７日実施　対象学年：第６学年）の結果が、第１学期末に届きました。本調査による学力の測定に関しては、実施当初からその信頼性と妥当性が議論されてきました。しかしながらこの調査は、平成１９年度から実施され、本年度で１９年が経ち（抽出校のみでの実施や東日本大震災、新型コロナウイルス感染症拡大による未実施年度を含む）、設問もその時代に求められている学力をより適正に測定するものに精度が高められてきました。さらに調査対象が全国規模（約 18500 校で実施）であることから、データの客観性も保たれ、相対的且つ経年で学校としての学力実態を見取ることができるものとしては、現在のところ唯一のものでもあります。調査結果は学力の全てを網羅していないこと、教育活動の一側面の結果であること等を踏まえながら、以下に本年度の調査結果についてご報告します。学校では、本調査結果に基づく分析や日々の学習指導等を通しての本校児童の実態を捉え、克服すべき課題を明確にし、これまでの指導法について効果検証を図るとともに、具体的な改善策（授業改善推進プラン）をもって、授業改善に取り組んでいきます。先月末、学校ホームページに「令和７年度　立川市立第六小学校　授業改善推進プラン」を掲載しました。保護者の皆様におかれましては、是非ご覧いただくとともに、今後も本校児童の確かな学力の定着に向け、家庭学習の充実及び学習意欲の向上、健全な生活習慣の確立に関して、更なるご理科とご協力をいただきますよう、宜しくお願いいたします。

令和7年度　全国学力･学習状況調査結果

教科＼全国･都･本校	全国平均正答率	都平均正答率	**本校平均正答率**	都平均との差
国語科	66.8	70	**66**	−4
算数科	58	64	**56**	−8
理科	57.1	60	**58**	−2

【学力調査考察】

国語では、東京都の平均正答率(以下「都平均」とする)を4%下回る、平均正答率66%という結果でした。「書くこと」の領域は都平均と同じでしたが、「話すこと･聞くこと」「読むこと」の領域は都平均を下回りました。特に、都平均よりも10%以上低かった「話すこと･聞くこと」の領域は、本校児童の課題と考えられます。自分と他者との考えを比べて、考えをまとめ直したり、どうすれば伝えたい内容が伝わるのかを考えて資料を選んだりする活動を取り入れ、今後指導していくことが重要と考えます。

算数では、都平均を8%下回る、平均正答率56%という結果でした。特に、「図形」と「変化と測定」では都平均よりも10%以上下回りました。「図形」では、作図の方法として適切な方法、台形の性質、五角形の面積の求め方を式や言葉で説明することが問われました。繰り返し練習して基本的な知識･技能を身に付けると共に、考えを式や言葉で説明する活動が重要と考えます。また、「変化と測定」では、新品のハンドソープの量を基に、何プッシュで空になるのかを求めるために必要な情報はどれかということが問われました。数式にはどのような情報が詰まっているのか、日ごろから意識させる指導が求められていると考えます。

理科では、都平均を2%下回る、平均正答率58%という結果でした。特に、「エネルギー」の領域は平均正答率が18%下回りました。電気回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することが問われました。教師から実験の方法を示すだけでなく、どんな実験を行う必要があるのかを考えさせる、「問題解決的な学習」を意識した授業づくりが必要だと考えます。

（学力調査分析担当　主幹教諭　大高幸一郎）